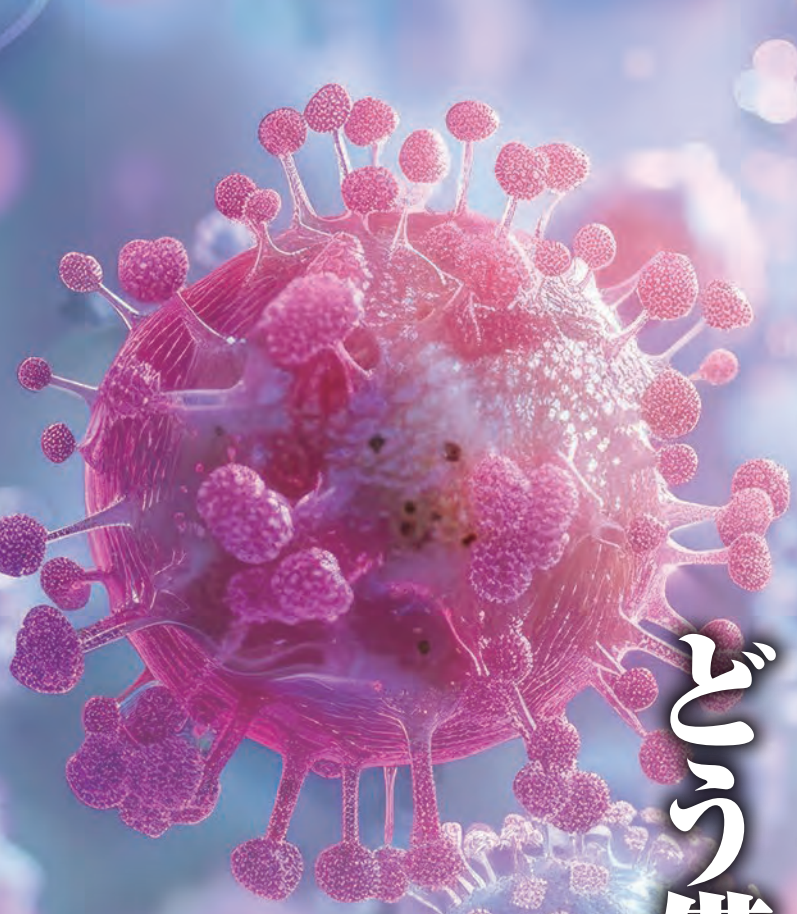
日本学術会議公開シンポジウム

次の新興・再興感染症にどう備えるか



自然界の野生動物が保有する病原体が社会に侵入し、人へと伝播する人獣共通感染症は、近年頻繁に発生し国際社会で問題となっている新興・再興感染症の大半を占めており、いまだ根絶が困難な喫緊の課題です。本シンポジウムでは、人獣共通感染症対策、ワクチン開発、創薬、構造解析、数理モデル、公共政策の専門家が最新知見を共有し、次の新興・再興感染症にどう備えるかについて、市民の理解と地域レジリエンス強化を図ります。

2025年
8月7日(木)
13:00 ～ 16:00

会　場

北海道大学医学部学友会館
「フラテ」フラテホール
（北海道札幌市北区北15 条西7丁目）
対面及びオンライン（zoom ウェビナー）によるハイブリッド開催

※ 駐車場はありませんので、公共交通機関等でお越しください。

参加費無料　どなたでも参加いただけます

参加申込

事前参加申込制
（申し込み締め切り8月4日(月)）
定員：対面250名、オンライン400名

参加を希望される方は、下記URL 又はQR コードからお申し込みください。
URL▶ https://forms.gle/sm9s8Adc7DtaKEWN7

お問い合わせ先

日本学術会議北海道地区会議事務局
（北海道大学　研究推進部　研究振興企画課）
Tel: 011-706-2155･2166　Fax: 011-706-4873
e-mail：suishin*general.hokudai.ac.jp
（上記 mail アドレスの*マークを@に変えてお送りください。）

プログラム

司　会　玉腰　暁子（日本学術会議第二部会員、北海道大学大学院医学研究院教授）

開会の挨拶　宇山　智彦
（日本学術会議第一部会員／北海道地区会議代表幹事／北海道大学スラブ・ユーラシア研究センター教授）

基調講演　**次のパンデミックに備える ～インフルエンザとCOVID-19の経験を踏まえて～**
喜田　宏
（北海道大学ユニバーシティープロフェッサー、同大学人獣共通感染症国際共同研究所特別招聘教授・統括、同大学総合イノベーション創発機構ワクチン研究開発拠点特任教授）

講演 1　**人獣共通感染症に対する対策**
澤　洋文
（北海道大学総合イノベーション創発機構ワクチン研究開発拠点卓越教授・拠点長兼生体応答解析部門長）

講演 2　**クライオ電子顕微鏡を用いた抗ウイルス薬・ワクチンの研究開発**
前仲　勝実
（北海道大学大学院薬学研究院創薬科学部門生体分子機能学研究室教授、人獣共通感染症国際共同研究所病原体構造解析部門）

講演 3　**新興感染症への疫学インテリジェンス提供の問題点と未来**
西浦　博
（京都大学大学院医学研究科附属ヘルスセキュリティセンター危機インテリジェンス部門教授）

講演 4　**高病原性ウイルス研究者である公衆衛生医師の視点からCOVID-19 流行対策を振り返る**
西條　政幸
（札幌市保健福祉局医務・保健衛生担当局長、国立感染症研究所（名誉所員））

総合討論
［モデレーター］
渡辺　雅彦
（日本学術会議第二部会員／北海道大学大学院医学研究院名誉教授）
玉腰　暁子
（日本学術会議第二部会員／北海道大学大学院医学研究院教授）
樋田　京子
（日本学術会議第二部会員／北海道大学大学院歯学研究院教授）
［パネリスト］
喜田　宏、澤　洋文、前仲勝実、西浦　博、西條政幸

閉会の挨拶　神田　玲子
（日本学術会議第二部部長／国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構理事）

主催：日本学術会議第二部会、日本学術会議北海道地区会議、北海道大学　　後援：日本生命科学アカデミー